

イワヤシダ	<i>Diplaziopsis cavaleriana</i> (H.Christ) C.Chr.	準絶滅危惧
		イワデングダ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。	<p data-bbox="991 367 1214 405">写真(荻山恒弘)</p> 
形態の特徴	夏緑性のシダ植物。根茎は直立し葉柄基部には黒褐色の鱗片がある。葉は単羽状複生で2形性。孢子嚢群は中肋近くに着き線形。葉脈は網目状になる。	
生態的特徴	山地の陰湿な林下に生育している。	
分布状況	県南中部、西部に点々と見られる。	
減少要因	生育地の林道等の整備が主な要因と思われる。シカの食害も懸念される。	
保全対策	生育地の林道等の整備の際には配慮が必要である。	
特記事項	最近の分類ではイワヤシダ科として扱われている。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 258. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1983. 日本のシダ植物図鑑. 3. P.68-72. 東京大学出版会. 東京. 邑田仁・米倉浩司. 2013. 維管束植物分類表. P.41. 北隆館. 東京.	

文責: 荻山恒弘